



現代日本人の「歴史認識」は洗脳の産物です

あなたの「常識」は、米中韓や偏向マスコミが歪曲・捏造したものかも知れません

歴史の事実をねじ曲げるマスコミや政党にNO!

欧米先進国や国連を舞台に、中国、韓国は「反日運動」を拡大しています。彼らの目的は主として金銭や利権欲しさですが、それ以上に許せないのは、彼らの主張を「正しい歴史認識」として扇動する我が国の新聞・マスコミです。私たち日本人は、歴史的事実や社会的真実を直視し、偏向した歴史観から自由にならなければなりません。

これだけは知っておくらねばならない常識

① 「太平洋戦争」という呼び名は誤りです

日本が戦ったのは、あくまで「大東亜戦争」です。「太平洋戦争」は米国側の呼び方であり、それを日本人が使うことは米国にへつらう「負け犬根性」に基づいています。

② 現行憲法は「平和憲法」ではありません

占領軍が「詭び証文」として日本に押し付けた現行「日本国憲法」の目的は、我が国から永久に独立主権を奪うことであり、平和どころか危険な代物です。このままではわが国を取り巻く「ならず者国家」から身を守ることさえ出来ません。一日も早く、根本的な改憲が必要です。

③ 「従軍慰安婦」は歴史詐欺による造語です

慰安婦は確かに存在しましたが、民間人が女性を募集して軍施設周辺で開業した、合法の「風俗営業」でした。軍が慰安婦を「強制連行」したというのは戦後流布されたデマ本によるものです。慰安婦の大多数は朝鮮人ではなく、日本女性でした。

④ 「南京大虐殺・三十万人」は事実無根です

支那国民党の蒋介石が戦時宣伝のために創作した流言飛語に過ぎません。昭和十二年当時、南京は人口二十万人の首都であり世界中の政府機関が集中していました。日本軍占領後は治安が良くなり、人口は二十五万人に増加しています。

⑤ 「朝鮮人徴用工の強制労働」は作り話です

戦時労働力確保のため、昭和十四年に「国民徴用令」が制定され、国民の多くは工場等で仕事に従事しました。当時日本国民だった朝鮮人も同じです。むしろ報酬は支払われており、奴隷的強制労働とは悪質なデマに過ぎません。

⑥ 日韓併合は、日本が希望した訳ではありません

日露戦争当時の朝鮮は文化、教育、産業も無い極貧状態でした。人口の3%に過ぎない両班以外は人間以下扱いという非文明の国など我が国にとつて不要でしたが、対ソ連対策上、朝鮮を早く独立させる必要があり、やむなく併合し日本指導の下で通常の国に創り上げたのが実態です。

⑦ 元号を排除して西暦だけで日本史を表記する愚

近年新聞等メディアでは、国民の生年月日、国内の出来事をすべて西暦(キリスト教暦)だけで表わす傾向が強くなっています。従来、国民は皆、明治・大正・昭和・平成という元号の生活時間で暮らしてきました。日本人の生活感覚を、利便性を理由に一本化することは文化の破壊です。元号と西暦とを併記すればよいのです。

⑧ 自衛隊を、一行政組織から「軍隊」に直すべきです

現在の自衛隊は、警察と同じ行政組織に過ぎません。PKO活動で海外派遣されても、現地では他国の軍隊に警護して貰うという情けない現状です。現行憲法九条を全面的に改めて、自衛隊を軍とし名譽を与えるべきです。

新風は、負の遺産を次世代に引き継がせない政党です

維新政党・新風本部

ホームページ <http://www.shimpu.jpn.org/>

〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下
第二ふじビル四階

TEL.075-708-3700 FAX.075-708-3800

Eメール otayori@shimpu.jpn.org

広報ビラ77号